

【バイオ実験技術セミナーのご案内】

老化研究にも応用可能なプロテオーム解析法  
-タンパク質の同定・リン酸化部位の決定法-

このセミナーは、大学院医学研究科博士課程「老化II」（大平明弘教授担当）

の講義（松本健一教授分担）を兼ねるので、受講生は必ず出席の事

質量分析における医学への貢献は目覚ましく、最先端の分析も飛躍的に技術が進んでおります。そこで、タンパク質の同定・バイオマーカー探索について質量分析装置を用いた事例を、3回に渡り解説します。

1回目(H20.12.18に、すでに開催済み)は、タンパク質の同定の原理と題しまして、PMF法とSequence tag法、電気泳動からの同定及びショットガン解析、定量解析の説明を行いました。今回は2回目で、質量分析装置を用いた最新のテクノロジーやタンパク質のリン酸化部位の決定法の紹介を行います。

日時： 5月28日(木曜日)17:00 – 18:30

場所： 図書館医学分館3階 視聴覚室

## 第2回目 内容

- ・タンパク質の同定法・リン酸化部位の決定法
- ・ 質疑応答

アプライドバイオシステムズジャパン  
マーケティング部 津幡 卓一 博士

問い合わせ先:

総合科学研究支援センター

生体情報・RI 実験分野 分野長 富岡治明

教授 松本健一

助教 浅井正俊